※令和４年度以降入学生用

学校番号	107

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	CreativeLiving『家庭基礎』で生活をつくろう（大修館書店出版）						
副教材等	CreativeLiving『家庭基礎』で生活をつくろう（大修館書店出版）学習ノート						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日常の家庭生活に興味を持ち、各分野の学習に積極的に取り組みましょう。
・生活における様々な現象や課題をワークショップ形式や演習等を通して考え、理解を深め知識を身につけます。周囲の人々の考えも知り多様な考え方を学び尊重するとともに、自分の考えや感想を柔軟かつ論理的に述べましょう。
・授業で学んだことを日常の生活課題としてとらえ、さらによりよい生活を目指しましょう。
・実践的・体験的な学習を通して、科学的理解に基づいた技術を身につけましょう。

2　学習の到達目標

人の一生と家族、家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術の習得と、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。
１）人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に着ける。
２）家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して問題を解決する力を養う。
３）様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人の一生と家族、家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を身につけている。	人の一生と家族、家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて課題を見出し、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、表現を工夫するなど、生活を創造する能力を身につけている。	人の一生と家族、家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	子どもの生活と子育てのマネジメント	・子どもの生活を知る 1、人間は成長していく存在であることを知る。 2、子どもの時期は人としての土台をつくる重要な時期であることを理解する。 3、子どもの成長発達は一人ひとり違うものであることを理解する。 4、子どもの行動の背後にあるものを理解し、かかわり方を知るとともにかかわりのなかでつくる「愛着」が、子どもの成長・発達に不可欠であることを知る。	a:乳幼児期が人間の発達の基礎をつくる最も重要な時期であること、及び環境の重要性を理解している。 a:人間形成の基礎となる乳幼児期は親による働きがけが重要であるということを理解している。 a: 子どもの成長・発達には個人差が大きいことを理解している。 a:自分の子どものころを振り返りながら、子どもにとって大切なことを子ども側に立って考えることができる。 b:人の一生における子どもの時期の位置づけについて考えを深め、まとめたり、発表することができる。 b:乳幼児期の重要性と子どもの人間形成について、親としてどうあればよいかを考え、意見交換できる。 b:子どもの成長・発達を見守る視点について、個人差や順序性と関連付けて考えを深め、まとめたり、発表したりしている。 c:乳幼児期の「愛着」の形成や子供の人格形成にかかわる親の役割について考えようとしている。	定期考査	定期考査 学習レポート	振り返りシート ノート
		・こんにちは、赤ちゃん 1、新生児期、乳幼児期の子どもの体と心の成長・発達をこまかく知るとともに、発達とは、それらの総合的なものであることを理解する。	a:乳幼児期特有の体の成長・発達の特徴を理解している。 a:新生児の生理的な特徴を理解し、それに応じた対応ができる力を持っている。 b:乳幼児期の心身の成長・発達の過程について、自分の子どもの頃と比較しながら、まとめたり、発表することができる。 c:乳幼児の心身の成長・発達の特徴とその特徴を、子どもが育つ環境と関連させて考えようとしている。	定期考査	定期考査 学習レポート	振り返りシート ノート

※令和４年度以降入学生用

		・子どものいる暮らし 1、子どもにとって生活習慣を身につけることの重要性を知り、家族の果たす役割を理解する。 2、子どもの発達を促し、子どもと楽しく過ごすためのかかわり方を知る。	a:基本的生活習慣と社会的生活習慣について理解している。 a:子供の成長・発達を第一に考えて、生活を作っていく必要性を理解し、その心構えがある。 b:子どもの成長・発達の適切な援助方について考え、まとめたり、発表したりしている。 c:子どもの成長・発達を促す生活のありようついて、理解しようとしている。	定期考査 定期考査	定期考査 レポート	振り返りシート ノート
		・子どもの仕事は「遊び」 1、遊びの意義を理解し、児童文化に関心を持つ。	a:子どもにとって、生活から得られるあらゆる刺激がその子の人間形成につながっていることを理解する。 a:子どもの発達、生活と遊びついて調査・観察したことをまとめたり、発表したりすることができる。 b:現代の子どもの心身の成長・発達について、生活や遊びなど近年の少子社会における子どもを取り除く環境の変化などを視野にいれ、課題をみつけ、それらの原因および解決方法をまとめたり、発表したりしている。 c:子どもにとっての遊びの意義と子どもの遊びについて関心を持とうとしている。	定期考査	定期考査 学習レポート	振り返りシート ノート
		・子どもの健康と事故 1、子どもの健康と安全について、基本的な理解を得る。	a:子どもの心身の健康を守るためには、普段から子どもをよく観察することが必要であることを理解する。 a:子どもの事故を予防するポイントにそって室内、室外ともに環境を見直すことができる。 a:予防接種や健康診査の情報を把握し、適切に受けさせることができる。 a:子どもの行動と、子どもの事故について関係づけて理解し、対応することができる。 b:子どもの健康・安全を守る方法について考え、まとめたり、発表したりしている。 c:子どもの病気への対応、安全確保について適切な援助方法について考えようとしている。	定期考査	定期考査 学習レポート	振り返りシート ノート

※令和４年度以降入学生用

		・親になるということ 1、子どもの人間形成に必要な親の役割と責任を学ぶ。 2、子どもの成長・発達にとってふさわしい家庭や社会環境の整備の大切さに気付かせる。 3、子育て支援のニーズとその社会的重要性を理解する。	a:親の果たす責任と役割について理解している。 a:近年の子どもを取り巻く環境の変化や子育てをする保護者の課題について理解している。 a:事例研究やロールプレイングなどを通して、子どもに対する親のはたらきかけの方法や親としての態度などをまとめたり、発表することができる。 b: 事例研究やロールプレイングなどを通して、子どもに対する親のはたらきかけの方法や親としての態度などをまとめたり、発表することができる。 c:子育ての社会的支援のあり方や支援策は、どうあればよいのかについて考えようとしている。	定期考査	定期考査 学習レポート	振り返りシート ノート

前期	経済生活のマネジメント	・生活を営むためのお金 1、経済的自立について理解する。 2、労働に関する契約や、条件について知る。	a: 経済的自立について理解している。 b:アルバイトや就職などを念頭にしながら、自分ならどうするかについて考えを深め、まとめたり、発表したりしている。 c:自分の将来を見据えて、労働や職業について考えようとしている	定期考査	定期考査 学習レポート	振り返りシート ノート
		・経済の仕組みを知ろう 1、毎日の生活を営むために必要な費用を知る。 2、家計を中心とした経済の循環を知る。	a:収入と支出からなる家計について理解している。 a:家庭経済と国民経済とのかかわりににについて理解している。 b:自身の経済活動が、企業や政府などの経済活動とつながっていることについて、考えを深め、まとめたり、発表したりしている。 c: 家庭経済と国民経済とのかかわりににについて関心を持ち、家庭の経済計画の重要性について考えようとしている。	定期考査	定期考査 学習レポート	振り返りシート ノート

※令和４年度以降入学生用

		・18 歳で変わる消費生活 1、消費にかかわる契約について理解する。 2、契約を交わす際の注意点、法的責任、トラブルなどについて知る。	a:契約について理解している。 a:多様化する消費者問題の特徴を理解している。 b: 多様化する消費者問題にどのように対処すべきか考えを深め、まとめたり、発表したりしている。 c:消費者問題の課題に関心を持とうとしている。	定期考査	定期考査 学習レポート	振り返りシート ノート
		・進むキャッシュレス社会 1、経済発展や技術の進歩により、消費生活は多様化・複雑化していることを理解する。 2、キャッシュレス化に伴い、見えにくいお金の動きをとらえることのできる家計管理が必要であることを理解する。	a:近年の消費生活の特徴を理解している。 b:多様化・複雑化する消費生活の課題について考えを深め、まとめたり、発表したりしている。 c:進むキャッシュレス化に伴いどのような家計管理が必要か関心を持ち、考えている。	定期考査	定期考査 学習レポート	振り返りシート ノート
		・消費者トラブルの今 1、消費者問題が発生する原因を知る。 2、問題商法の現状を知り、なぜ、被害がおこるのかを考える。 3、売買契約のトラブルや消費者問題から消費者を救済する法律や制度について理解する。	a:問題商法の種類と被害の内容、回避する方法について理解している。 a: 売買契約のトラブルや消費者問題から消費者を救済する法律や制度について理解している。 a:クーリングオフの条件を理解している。 b:消費者問題から消費者を救済する法律や制度について、まとめたり、発表したりしている。 c:消費者を救済する法律や制度について関心をもとうとしている。	定期考査	定期考査 学習レポート	振り返りシート ノート

前期	食生活のマネジメント	・体と心を満たす食事 1、食事のもつ意味を知る。	a:五大栄養素と代表的な食品について理解している。 a:食事の役割について理解している。 b:食事の役割についてまとめたり、発表したりしている。 c:現代の食生活や食事の意義について考えている。	定期考査	定期考査 学習レポート	振り返りシート ノート
		・栄養バランスの良い食事 1、現在の食生活の現状を理解し、どのようにすればより健康的な食生活が送れるのか考える。 2、食事と食品の栄養素の関係について理解する。	a:現在の食生活の現状を理解している。 b:どのようにすればより健康的な食生活が送れるのか考える。 c:食事と食品の栄養素の関係についてまとめたり、発表したりしている。	定期考査	定期考査 学習レポート	振り返りシート ノート

※令和４年度以降入学生用

		・炭水化物・脂質・たんぱく質・無機質・ビタミンを摂る 1、それぞれの栄養素の働きとその重要性を理解する。 2、それぞれの栄養素の種類を知り、炭水化物の摂り方について考える。 3、それぞれの栄養素を多く含む食品とその利用方法について考える。	a:炭水化物の種類と機能を理解している。 a:おもな食品の栄養的特質を食品群と関連させて理解している。 b:栄養素の種類と機能を踏まえ、食品を組み合わせて摂る具体的な献立をまとめたり、発表したりしている。 c:家族や自分の食生活について、栄養素と健康を関連させて考えようとしている。	定期考査	定期考査 学習レポート	振り返りシート ノート
		・献立作り・調理実習 1、これまでに習得した栄養・食品に関する知識をいかして献立を作成できるようにする。 2、食品を調理する目的を理解し、調理を科学的に理解する態度を養う。	a:栄養素の種類と機能を理解したうえで、献立をたてることができる。 a:調理の基礎技術を身につけ、調理することができる。 b:自分や家族の献立を、栄養や嗜好、調理の能率、経済面などを考慮しながら立て、気づいたことをまとめたり、発表したりしている。 b:調理の技術を積極的に身に着けようとしている。 c:食事内容や献立立案に関心をもとうとしている。 c:食生活の多様化や、食環境の変化に興味をもち、調理実習・実験に取り組んでいる。	定期考査	定期考査 学習レポート	振り返りシート ノート

前期	衣生活のマネジメント	・人と衣服のかかわり 1、人と衣服の関係を、被服の歴史から確認する。 2、現代の衣生活が技術革新によってもたらされたものであることを知る。	a: 人が衣服を着る理由について知る。 a: 現代の衣生活が技術革新によって実現されてきたことを知る。 b:自分の衣生活を振り返り、課題を見つけようとしている。 c:人間と被服のかかわりについて考えようとしている。 c: 自分の衣生活を振り返り、課題を見つけようとしている。	定期考査	定期考査 学習レポート	振り返りシート ノート
		・健康と安全を守る被服 1、被服着用による健康障害や事故について知識を深め、トラブル防止の方法について理解する。	a:健康・安全などについて配慮した被服の選択が適切にできる。 b:健康・安全などについて配慮した被服の調達と課題などについて考えを深め、まとめたり、発表したりしている。 c: 健康・安全などについて配慮した被服について、自身の衣生活と関連させ、振り返り、課題を見つけようとしている。	定期考査	定期考査 学習レポート	振り返りシート ノート

※令和４年度以降入学生用

		・快適な衣生活の条件 1、被服の機能を知り、TPO やライフステージに応じて自分も他人も快適になる衣服の着用ができるようになる。 2、被服の形と構成の関係を理解する。 3、動作とゆるみの基本的な関係を理解する。 4、被服材料の種類、性能、加工法を知る。	a:被服には、保健衛生的機能と社会的機能があることを理解している。 a:健康、安全などについて配慮した被服の選択が適切にできる。 a:被服が内面的個性を表現する手段であることを理解している。 a:自分なりのコーデイネートで表現しようとする態度を身に着けている。 a:繊維の種類、性能、糸や布の構造が布の性能とかかわりがあることを理解している。 a:用途や着用目的に合った被服材料の選択ができる。 b:被服の機能について考えをまとめたり、発表したりしている。 b: :健康、安全などについて配慮した被服の調達と活用などについて考えを深め、まとめたり、発表したりしている。 b:自分らしい着装について考え、まとめたり、発表したりしている。 b: 用途や着用目的に合った被服材料の選択について、具体的に考えている。 c:被服の快適さを保障する条件について、具体的に考えようとしている。 c:被服材料の性能と特徴について、着心地などと関連させて具体的に考えようとしている。	定期考査	定期考査 学習レポート	振り返りシート ノート
		・長持ちさせる手入れ 1、洗濯の目的と方法、洗剤の種類と働きを理解する。 2、被服の洗濯以外の手入れ方法を知る。 3、被服の収納方法を工夫し、実践する態度を養う。	a:洗剤の働きと汚れが落ちる仕組み、について理解している。 a:被服材料に応じた洗濯、仕上げ、保管等ができる。 a:繊維製品の取り扱い絵表示を読み解き、適切な選択方法を選ぶことができる。 b:被服材料に応じた被服整理や適切な衣生活の管理について考えようとしている。 c:洗剤の種類や汚れの種類、洗剤の成分について関心をもち、合理的な洗濯の方法について考えようとしている。	定期考査	定期考査 学習レポート	振り返りシート ノート

※令和４年度以降入学生用

		・基礎縫い実習 1、日常生活で使用頻度の多い、基礎縫いについて習得する。 2、基礎縫いの技術を使って刺し子ファイルカバーを作成する	a：日常生活で使用頻度の多い、基礎縫いについて習得できている。 b:課題について関心を深め、真摯に取り組もうとしている。 c：課題について関心を深め、真摯に取り組もうとしている	作品提出	作品提出	レポート

後期	住生活のマネジメント	・住まいを知ろう 1、住まいの役割や重要性を理解する。 2、住まいや住生活の変化とその要因を知ることを通して、現代の住まいや住生活について考える。 ・日本の住文化を知ろう 1、住文化の成り立ちを知り、その変化の過程と現代の住生活との関係を知る。 2、気候風土により、住まいが地域によって異なる特徴をもって発展してきたことを理解する。 3、世界のさまざまな住文化について理解し、国際理解について考える。	a:住まいの機能について理解している。 a:現代の住まいと住まい方について理解している。 a:住まいは人の暮らしの変化に応じて変化していくものであることを理解する。 c:住まいの機能、人間と住まいのかかわりについて考えようとしている。	定期考査	定期考査 学習レポート	振り返りシート ノート
			a:住まいは気候風土に合わせ、材質や構造の工夫をすることで、快適な空間を創造できることを理解している。 b:現代日本社会の気候風土に合わせた住まいの工夫について調べたことをまとめたり、発表したりしている。 b:日本や世界の住まいについて、調査したり、まとめたり、発表したりしている。 c:住生活の文化に関心をもち、住まいの機能、人間と住まいとのかかわりについて考えようとしている。	定期考査	定期考査 学習レポート	振り返りシート ノート

※令和４年度以降入学生用

		・住む人の生活と住まい ・心地よく住まうために 1、ライフスタイルやライフステージによって、住空間に対する家族の要求が異なることを理解し、住まいの要求にあった住まいのあり型を考える。 2、平面図の基礎を学び、要求にあった住まいであるかを平面図から読み取れるようになる。 3、快適な室内環境のための知識を見につけ、健康な住まいや住生活のありかたを考える。	a:生活行為と住空間のかかわり、動作に必要な広さ、家具の配置や動線などについて理解している。 a:平面図が読み取れ、住空間の計画について検討できる。 a:健康に配慮した室内環境の整備について理解している。 b:空想した家族や住まいをもとに、住まいの機能や住空間と家族の暮らし方などについて、考えをまとめたり、発表したりしている。 b:健康に配慮した室内環境の整備、住まいの計画的な維持管理などについて考えを深め、まとめたり、発表したりしている。 c:家族構成、ライフステージ、生活にかかわる価値観などに応じた住空間の計画について検討しようとしている。 c:健康で快適に生活するための住まいについて考えようとしている。	定期考査	定期考査 学習レポート 住居計画シール	振り返りシート ノート 住居計画シール

後期	青年期の課題と自立	・子どもからおとなへ １、自分の生活と自分自身について自己理解を深める。 ２、青年期の発達課題を達成するための生き方を考える。	a:青年期の自立について理解している。 b:自立や男女平等と相互の協力などの青年期の課題について、自己の生き方と関連させて考えを深め、まとめたり、発表したりしている。 c:人の一生を生涯発達の視点でとらえ、青年期の課題について考えようとしている。	定期考査	定期考査 学習レポート	振り返りシート ノート
		・自立の達成をめざそう １、青年期は、自己の生き方が営めるように、また、自己実現にむけて生きていくための準備をする時期であることを理解する。 ２、自立と同時に、多様な価値観や生き方を認めて他者と共生する「共生社会」と「持続可能な社会」の実現を目指すことも青年期の課題であることを理解する。	a:自立とは何かについて理解している。 a:新聞や書籍、ネットなどを活用したり、事例研究等に必要な資料を収集したり、疑問に思うことや興味を持ったことを調べたりすることができる。 b:自立とは何か、また、自立を達成するために今、できることは何かについて、まとめたり、発表したりしている c:自立と同時に、多様な価値観や生き方を認め、「共生社会」と「持続可能な社会」の実現について考えようとしている。	定期考査	定期考査 学習レポート	振り返りシート ノート

※令和４年度以降入学生用

後期	家族と家庭生活のマネジメント	・家族って何だろう １、「家族」の定義を理解する。 ２、家族と世帯について理解し、現代の家族の特徴と社会のかかわりについて理解する。	a:現代の家族の特徴について理解している。 b: 現代の家族の特徴と社会のかかわりについてまとめたり、発表したりしている。 ｃ：現代の家族の特徴に関心をもち、これからの家族のあり方や社会とのかかわりについて考えようとしている	定期考査	定期考査 学習レポート	振り返りシート ノート
		・わかってくれて当然？ １、家族の人間関係について、事例、演習等を通じて考える。 ２、家族関係から生じる問題について知り、その解決方法について考え、必要な力を身につける。	a:現代の家族の特徴と、その変化などについて具体的な事例を調査・研究し、発表することができる。 b:親子関係や夫婦関係などの家族関係のありかたについて、具体的な事例や演習を通して考えを深め、まとめたり、発表したりしている。 C:家族関係に関心を持ち、これからの家族のありかたや、社会とのかかわりについて考えようとしている。	定期考査	定期考査 学習レポート	振り返りシート ノート
		・生活のマネジメント 1、家族が家族個人に果たしている機能と社会に果たしている機能を理解する。 2、家庭の機能が各家族員の協力によって果たされていることを認識し、各自の家庭での役割を考える。	:現代の家庭の機能について理解している。 a:家事労働と職業労働の特徴について理解している。 a:現代の家庭の機能とその変化などについて具体的な事例を調査・研究し、発表することができる。 b:各自が担う家庭での役割について、具体的な事例や演習を通し考えを深めまとめたり、発表したりしている。 c:家庭の機能、家事労働と職業労働などに関心をもち、これからの家族のありかたや社会とのかかわりについて考えようとしている。	定期考査	定期考査 学習レポート	振り返りシート ノート

※令和４年度以降入学生用

		・法律から見る家族・家庭 1、家族･家庭に関する法律を理解し、制度としての家族について考える。	a:家族･家庭に関する法律について理解している。 a:他教科で学んだことを関連づけたり、新聞や書籍、ネットなどを活用したりして、疑問に思うことや、興味をもったことを調べたりして、研究･発表することができる。 b: 家族･家庭に関する法律をもとに、社会制度としての家族ついて考えを深めまとめたり発表したりしている。 c: 家族・家庭に関する法律に関心をもち､社会制度としての家族ついて考えようとしている。	定期考査	定期考査 学習レポート	振り返りシート ノート

後期	共生社会をつくる	･生活課題の乗り越え方 1、生活リスクについて理解し、人生におけるリスク管理の必要性を理解する。 2、自分の生活に問題が生じたとき、どう解決するか具体的に考える。	a:生活リスクとそれを支えるものとして、福祉があることを理解している。 a:リスクの回避方法の一つとしてセーフティーネットワークがあることを理解している。 a:自助・互助・共助・公助について具体例とともに理解している。 b: 自助・互助・共助・公助について,具体事例について調査･研究し、まとめたり、発表したりすることができる。 c:日常生活にある自助・互助・共助・公助の在り方について考えようとしている。	定期考査	定期考査 学習レポート	振り返りシート ノート
		･みんなで支えあうしくみ 1、社会保障制度の概要について理解する。 2、社会保障制度を支える税金やマンパワーについて理解する。	a: 社会保障制度について理解している。 b: 社会保険制度の概要について考え､まとめたり､発表したりしている。 c: 社会保障制度について,人の一生におこるできごとと関係づけて考えようとしている。	定期考査	定期考査 学習レポート	振り返りシート ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度